



十勝開拓当初から
続く自然の猛威

昭和11年
売買川大洪水

一帯広百年記念館
所蔵一

臨時行政調査会
土光敏夫会長
訪問の証し

「農業基盤整備は国の
事業」と認識された大
きな節目

～十勝農業の生産性
を高める契機となる





基盤整備が 進む十勝

ー暗渠排水工事施工
直後の十勝の圃場

輸入がストップした場合の 食事例（農水省）

～2015年における農地の見込み面積（450万ha）などを前提に、
熱効率を最大化（2,020kcal）した場合の試算

加えて、うどん2日に1杯、みそ汁2日に1杯、納豆3日に2パック、牛乳6日にコップ1杯、
たまご7日に1個、食肉9日に1食

資料：農林水産省「いざという時のために ～不測時の食料安全保障について～」

朝食

昼食

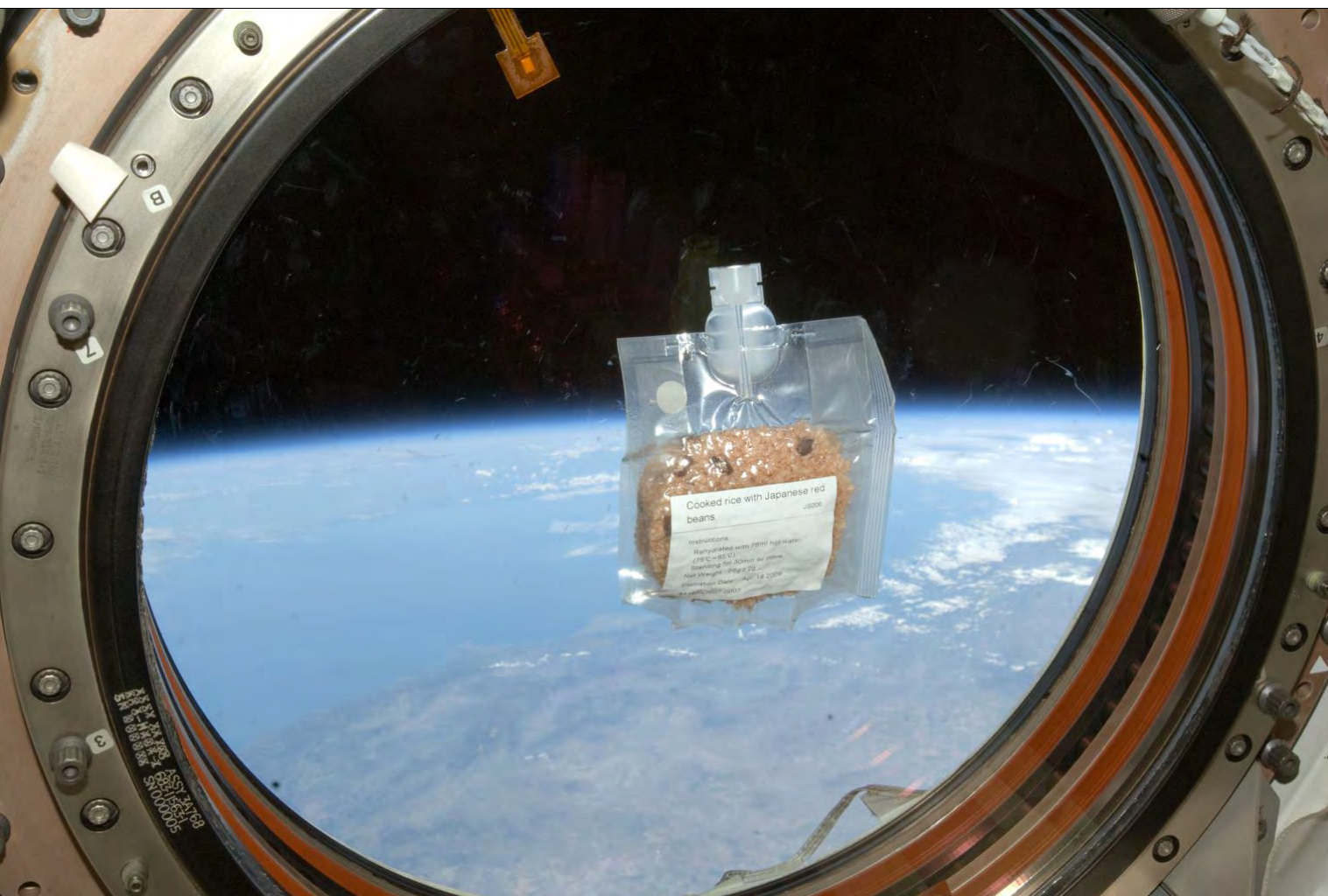
夕食



海外輸出

十勝物産展inロサンゼルス





究極の安全安心

ＪＡ帯広かわにしの「小豆」が宇宙へ

平成30年1月以降、尾西食品株式会社様製造の宇宙日本食「赤飯」の原料として当ＪＡの小豆を供給

※長いものの宇宙食も開発中

提供：JAXA/NASA

— 持続的な農業の展開で未来へ —





Oshima
KAWANISHI

十勝の肥沃な大地と、豊かな水
自慢の風土が生んだ自慢の逸品。

壮大な山々と恵み豊かな大地に抱かれた「北の田園 十勝」。
この広大な大地で生まれた子供たちは
日本全国・世界各国に安心と美味しさを届けています。



JA帯広かわにし
帯広市川西農業協同組合
<https://www.jaobihirokawanisi.or.jp/>



本店	〒089-1198 帯広市川西町西2線61番地の1	☎0155-59-2111
帯広中央支店	〒080-0015 帯広市西5条南9丁目1番地1	☎0155-22-3131
東京支店	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3丁目28番地の7 昇龍館ビル5F	☎03-3292-7031
大空支店	〒080-0838 帯広市大空町12丁目2番地3	☎0155-48-5888
みなみ野支店	〒080-0862 帯広市南の森西1丁目1番地1	☎0155-47-6680
西帯広支店	〒080-2473 帯広市西23条南2丁目1番地10	☎0155-37-3955
稲田支店	〒080-0012 帯広市西2条南34丁目23番地	☎0155-48-2911
広野支店	〒080-2335 帯広市広野町西2線152番地	☎0155-60-2545
清川支店	〒080-2103 帯広市清川町西2線128番地	☎0155-60-2041
上帯広店	〒080-2334 帯広市上帯広町基線74番地	☎0155-64-4762
戸蔭店	〒080-2113 帯広市上清川町西1線183番地	☎0155-60-2323
西帯広事業所	〒080-2472 帯広市西22条南1丁目6番地	☎0155-37-2633
青果部	〒089-1184 帯広市別府町南18線32番地	☎0155-59-2241
岐阜各務原事業所	〒509-0141 岐阜県各務原市鵜沼各務原町7丁目7番地	☎0583-70-3603
特産品直売所	〒080-0012 帯広市西2条南34丁目23番地	☎0155-48-2264



2022-2023

guidance

JA帯広かわにし
帯広市川西農業協同組合

Top Message



帯広市川西農業協同組合
代表理事組合長

有 塚 利 宣

組合長挨拶

皆様には、日頃よりJA帯広かわにしをご愛顧賜り、誠にありがとうございます。

当組合は、平成15年4月1日に帯広川西農協と帯広市農協の合併により設立されました。北海道の東部・十勝平野の中央部に位置する帯広市を区域としており、12,800haの農用地に小麦、馬鈴薯、てん菜、豆類、長いもを基幹として畜産を含め多岐にわたる野菜類を産出する食糧生産基地であります。

安全で安心してもらえる農畜産物を生産するために生産者と一体になり鋭意研鑽しながら、地域の豊かな生活と安定した経済を築くために努力しております。

農業は単に食料を供給するのみではなく、自然環境の保全、良好な景観の形成などすべての人々に住みよい環境を創造していく多面的な機能を有しています。

未来への農業を展望しながら食糧基地十勝の発展と、皆様に愛され共生できる農業農村を目指し一層の精励を続けて参ります。

基本理念

JA帯広かわにしは 安全、安心な農畜産物を提供し、
地域の豊かな生活と安定した経済を築くために貢献していきます。

基本目標・基本方針 ～ 農業振興・農協経営5ヵ年計画 ～

農業の振興と 組合員の暮らしの向上

- 未来を志向する多様な経営体の育成
- 所得向上を支える強靱な農業生産基盤の確立
- グローバル化に対応した販売力強化
- 持続可能な農業都市の実現

事業運営体制と 経営基盤の強化

- 財務の健全化と基盤強化、収益性の改善
- 職場教育の充実とコンプライアンス（法令等遵守）の徹底
- 業務の効率化と総合情報システムの有効活用

組合員・地域とのつながり強化と 協同活動の理解促進

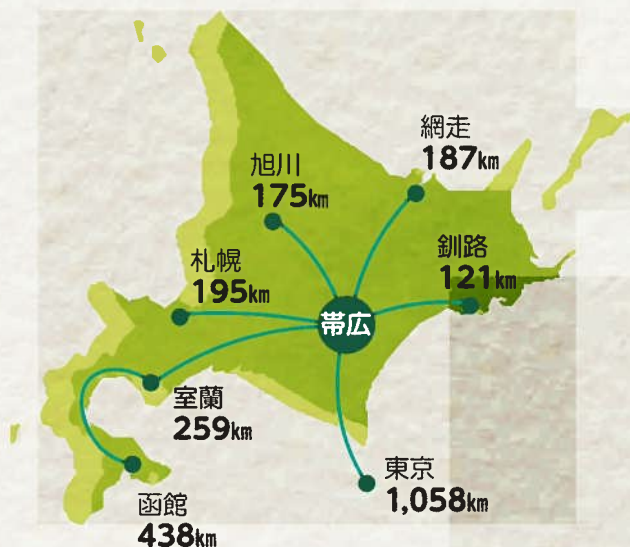
- 地域社会へ貢献するサービスの提供
- 組合員の協同活動への結集と理解促進
- 組合員・利用者などの資産形成支援
- 高度情報化に対応した組合員ネットワークの構築

地域の概要

地理

帯広市は、北海道の東部・十勝平野のほぼ中央部に位置し、面積約618km²、人口約16万人で、十勝の農林業の集散流通都市として発展してきました。

市街地は北に集中しており、南には大規模畑作地帯が続き、広大な田園地帯を形成しています。



帯広への交通アクセス

✈️ 空路 とかち帯広空港

- 東京（羽田空港）
約1時間40分

🚆 鉄道（JR） 帯広駅

- 札幌駅
約2時間25分～50分
- 新千歳空港
約2時間10分～35分
- 釧路駅
約1時間35分～40分



気候

十勝は日高山脈と大雪山を背に太平洋に面し、気象は大陸型気候の特徴を有し、春と秋は短く、夏は比較的高温ながら爽やか、冬は寒さが厳しい反面、降水量が少ないことから晴天日数が極めて多くなっています。十勝平野の中央を広大な十勝川が流れ、川西地域の東を流れる札内川は、清流日本一に過去8回輝いており、この川の伏流水を飲用する帯広の水は、澄んだ空気とともに「水と空気のおいしいまち」として帯広市民の誇りとなっています。

月平均気温と月間降水量の比較

